

第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会会長候補
所信

前川 聡
滋賀医科大学
糖尿病内分泌・腎臓内科

糖尿病治療の最終目標は、単なる血糖コントロールだけでなく、QOL の確保と健康寿命の延伸にあります。細小血管障害や大血管障害の発症・進展阻止に加え、癌、認知症、サルコペニアなどにも対応するため他診療科を巻き込んだ“横断的”な医療が益々必要になってきました。また、海外では Patient-centered Approach が提唱されていますが、本邦では以前より個々の患者さんに寄り添った個別化医療が行われており、糖尿病診療におけるこのようなチーム医療はさらに発展していくと確信しております。一方で、進歩の著しい基礎医学における研究成果を臨床医学に応用していくための“縦断的”な連携も益々重要になってきております。私は『縦糸と横糸で織りなす糖尿病学の基礎と臨床：チーム医療で目指す糖尿病のトータルケア』をテーマに、有意義な討論の場を提供できればと考えております。

諸先生方の温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。